



Possibility of chemistry

Denka

世界に誇れる、化学を。

個人投資家向け説明会

2025年10月2日

証券コード：4061
デンカ株式会社

DenkaCo.,Ltd.AllRightsReserved.

- 
- 1 Denkaとは
 - 2 当社の事業・製品
 - 3 水力発電
 - 4 経営計画「Mission2030」と株主還元

世界に誇れる、化学を。

Denka

1

Denkaとは

世界に誇れる、化学を。

Denka

社名 **デンカ** 業種 **化学**
(旧社名) (電気化学工業)

創業 **1915年** 上場市場 **プライム市場**

本社 **東京都中央区** 証券コード **4061**

製造拠点 **新潟・福岡・千葉・群馬
シンガポール・中国 他** 資本金 **370億円**

従業員数 **6,542人** 決算期 **3月**

(2025年3月31日時点)



大阪・関西万博にて「CUCO-SUICOMドーム（サステナドーム）」（鹿島建設施工）の躯体の一部に使用された「CUCO-SUICOMショット」に当社の炭酸化混和材「LEAF®」を使用

Denka | デンカの軌跡と業績推移

創業期

カーバイド製造技術をベースに肥料の製造・販売を目的に創立
電力供給安定の為、自社水力発電を開始



青海工場開設 (1921年)

黒姫山から得られる豊かな資源、電力を担う豊富な水源がある新潟県糸魚川市にて工場開設



青海川発電所 (新潟県)

基盤事業拡大期

カーバイドアセチレン化学の事業展開により、有機分野に進出



アセチレンブラック



クロロプレングム

総合化学への拡大

石油化学、ヘルスケア領域へ進出
カーバイド製造で得た技術を活かし、最先端な電子材料素材を拡充



スチレンモノマー



インフルエンザワクチン

ポートフォリオ変革とスペシャリティ化の推進

電子材料事業やヘルスケア事業などスペシャリティ事業の拡大

ポートフォリオ変革：
セメント事業の撤退他



社会 ニーズ 「生成AI・xEVなどの技術革新」、「再生可能エネルギーの拡大」、
「クオリティ・オブ・ライフ」、「感染症への対処」、「循環型社会への対応」等

Denkaの強み ニッチマーケットで求められる **3分野の独自技術** と **水力発電**

1 機能性粉体

世界シェアNo.1

アセチレンブラック



球状シリカ



窒化珪素



球状アルミナ



2 ヘルスケア製品

世界シェア
No.1



C反応性蛋白(CRP)
測定試薬

国内シェア
No.1



クイックナビ™-Flu+COVID19 Ag

国内メーカー
3社の一角



インフルエンザワクチン

3 有機化学品

世界シェアNo.1

クロロブレンゴム



超耐熱性樹脂IP



MS樹脂



新製品
スネクトン



4 水力発電



電源構成比の約3割

- ・国内17ヵ所、
- ・一般家庭の約18万世帯
- ・最大出力約14万kw

※2025年3月現在/合併会社所有分含む

ポリマーソリューション

幅広い製品群により自動車や電機、食品包装容器など様々な用途で人々の暮らしを支える



エラストマー・インフラソリューション

有機から無機までの幅広い技術で人々の安全・安心・快適な暮らしを支える



電子・先端プロダクツ

半導体（汎用）、半導体（生成AI）、xEV、電力インフラ市場において最先端素材を提供



2024年度
連結売上高
4,003億円

ライフイノベーション

予防・診断・治療のそれぞれの領域において、最終製品・サービスを提供

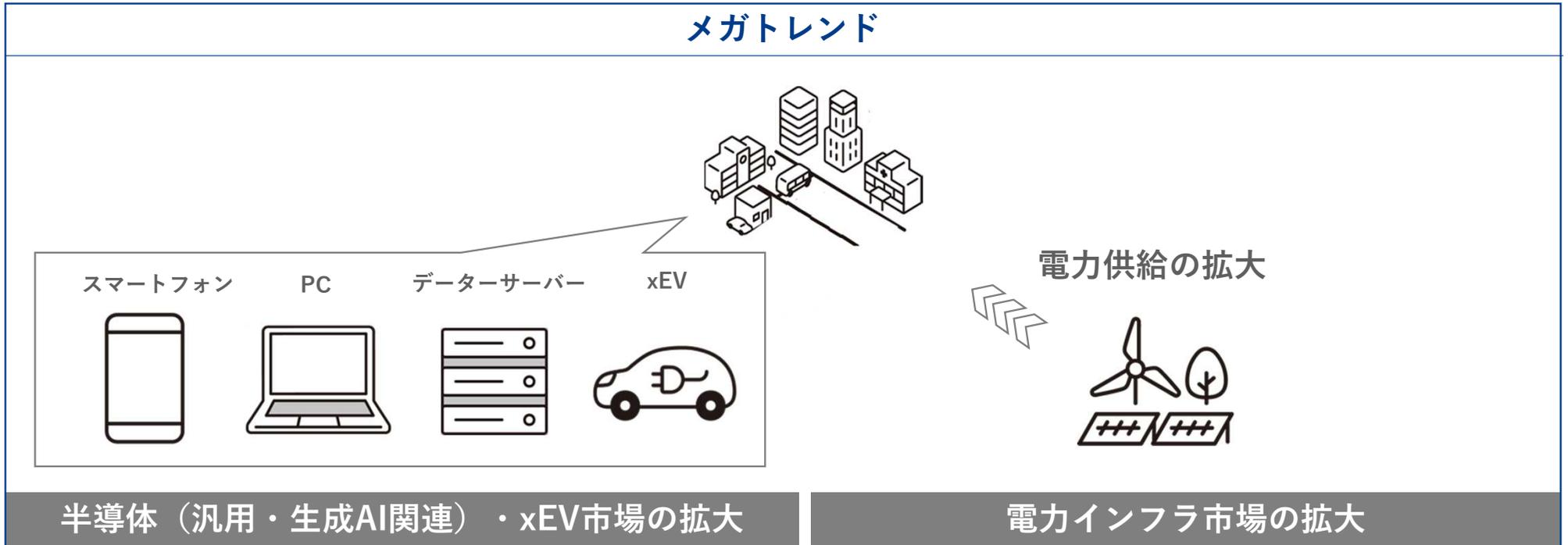


2

当社の事業・製品
電子・先端プロダクツ

世界に誇れる、化学を。

Denka



通信量の増加に伴う発熱を防ぐ
重要性が高まる

電力を効率良く・安全に運ぶ
重要性が高まる

技術力を活かした製品は、社会のニーズに応じて様々な市場で活躍

メガトレンド ▶	半導体（汎用） 	半導体（生成AI関連） 	xEV 	電力インフラ 
高機能フィルム	●	●		
球状シリカ/低誘電正接シリカ	●	●		
球状アルミナ	●	●	●	
スネクトン		●		
窒化珪素			●	●
アセチレンブラック			●	●
セラミックス基板			●	●
アルシンク				●

世界シェアNo.1

球状シリカ



特徴：低熱膨張性
半導体の熱膨張を抑える

主な用途

半導体 (汎用)

1

封止材

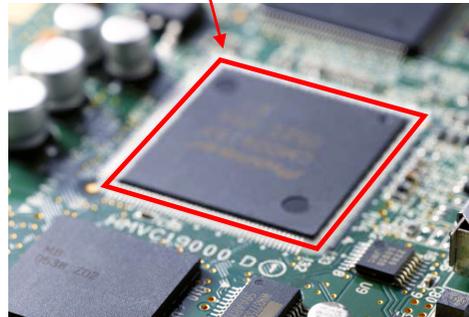
半導体 (生成AI関連)

2

半導体パッケージ基板

封止材とは…

半導体を熱、湿気、衝撃などから保護する



世界シェアNo.1

球状アルミナ



特徴：高放熱性
半導体やリチウムイオン電池
などの放熱性を高める

主な用途

半導体 (汎用)

1

半導体・電子部品向け
放熱材料

2

半導体 (生成AI関連)

放熱封止材

3

xEV

リチウムイオン電池の冷却
機構やOnBoardCharger[※]
の放熱材料

※EV/PHEVに搭載される変圧器



（低誘電有機絶縁材料）

スネクトン
（2025年2月上市）



特徴：低誘電率、低誘電正接

生成AIをはじめとする
高速通信など最先端分野で
要求される低伝送損失を実現

主な用途

半導体（生成AI関連）

1

AIサーバーなどの
高速通信回路基板



（今後の展開）
PC、スマートフォン、データセンター、携帯電話基地局、
ウェアラブル端末、自動車など幅広い分野へ

技術
革新

生成AIの急速な進化と拡大

次世代高速通信（5G・6G）の普及



通信速度が速くなるほど電気信号が
熱に変換されてしまう伝送損失が発生

課題

エネルギーロス、通信性能の低下



解決

スネクトン

球状シリカ（低誘電正接グレード）とのセットでの
ソリューション提案も含め様々なグレードを順次開発

世界シェアNo.1

アセチレンブラック



特徴：超高純度、チェーン構造、高結晶

リチウムイオン電池や高圧ケーブルの電気伝導性、耐久性、安全性を高める

主な用途

電力インフラ

1 高圧ケーブルの半導電層



xEV

2 リチウムイオン電池の正極材に使用される導電助剤



DenkaCo.,Ltd.AllRightsReserved.

生成AIの拡大、xEVの普及などによる電力需要の拡大

欧州では数千kmに及ぶ送電網が計画

高圧ケーブル用途

電気の安定供給と
クリーンエネルギーの普及に貢献



2

当社の事業・製品 ライフイノベーション

DenkaCo.,Ltd.AllRightsReserved.

世界に誇れる、化学を。

Denka

「予防」「診断」「治療」の領域で、人々のクオリティ・オブ・ライフ向上に貢献

予防



インフルエンザワクチン

診断



抗原迅速診断キット

臨床検査試薬

治療



がん治療用ウイルス製剤

感染予防や重症化予防の一翼を担う

1951年

当社と合併したデンカ生研の前身である東芝化学工業がインフルエンザワクチンの製造を開始

1972年

副反応を低減させた「インフルエンザHAワクチン」を製品化



2022年

原液新棟の稼働により生産能力をアップ



インフルエンザワクチンができるまで

製造用株選定(1月～3月)

- 世界保健機関(WHO)専門家会議でワクチンに用いる推奨株を毎年決定
- 国内製造メーカー3社による候補株の生産性評価
- 厚生労働省と国立感染症研究所が流行状況、製造候補株の生産性などを踏まえ、製造用株を選定

原液製造(3月～9月)



抗原迅速診断キット

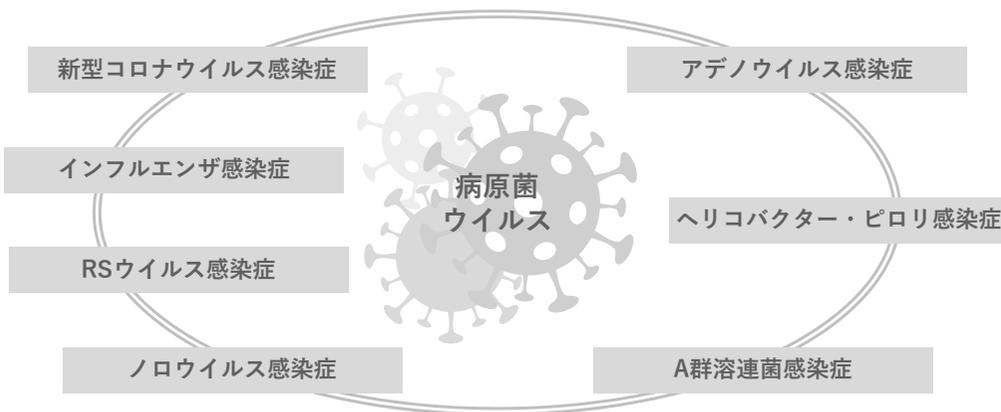
様々な感染症が短時間で検査可能

国内シェアNo.1



クイックナビ™-Flu+COVID19Ag (コンボキット)

※被検者の傍らで医療従事者が行う検査であり、検査時間の短縮および被検者が検査を身近に感ずるという利点を活かし、迅速かつ適切な診療・看護・疾患の予防、健康管理などに寄与し、ひいては医療の質、被験者のQOL (qualityoflife) および満足度の向上に資する検査。



臨床検査試薬

2000種類のラインアップを展開、 様々な検査で活躍

区分	主な検査項目	用途
免疫血清検査	CRP、FER、IgGなど	抗原抗体反応を利用して血中の様々な物質を検出 (幅広い用途)
臨床化学検査	コレステロール (HDL・LDL・sd-LDL) など	酵素や化学反応を利用してコレステロールなどの血中物質を検出
細菌検査	赤痢菌、病原性大腸菌、サルモネラ菌、ブドウ球菌など	保健所などでの疫学調査
ウイルス検査	麻疹・風疹(ルベラ)など	妊婦検診やワクチン接種前の抗体価検査

2

当社の事業・製品

エラストマー・インフラソリューション

世界に誇れる、化学を。

Denka

様々な製品で人々の安全・安心・快適な暮らしを支える

青海工場のカーバイドチェーンと主要製品



世界シェアNo.1

クロロプレンゴム



- ・耐熱性、耐油性に優れた合成ゴム
- ・幅広い用途で使用される

主な用途

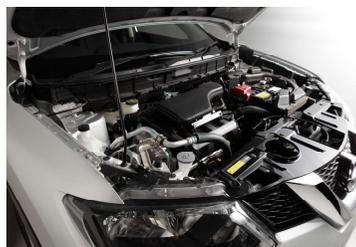
産業用ベルト



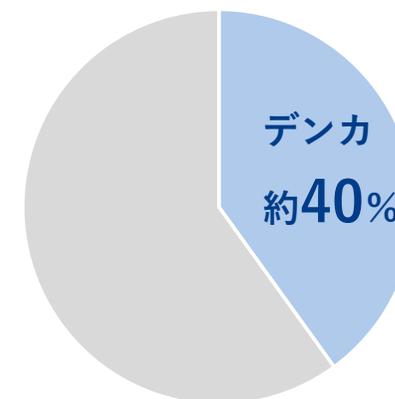
接着剤



自動車部品



グローバルシェア



生産拠点

青海工場 (新潟県)

DPE (米国クロロプレンゴム製造子会社)

DenkaPerformanceElastomerLLC

(2025年5月より暫定停止中)

2

当社の事業・製品 ポリマーソリューション

世界に誇れる、化学を。

Denka

原料から食品包装容器などの成型品まで製造し、様々な用途で社会を支える

スチレンチェーンと主要製品



世界シェアNo.1

MS樹脂



- 透明樹脂
- 液晶テレビ、モニターのバックライト用導光板や化粧品容器など幅広く使用

クリアレン



- 高い透明性や、優れた熱安定
- 様々な成形方法に適応できる透明樹脂

世界シェアNo.1

超耐熱性樹脂IP



- ABS樹脂の耐熱温度を高めて熱による部品の変形を抑制し、安全性の向上に寄与
- 主に自動車や家電製品に使用

3

水力発電

世界に誇れる、化学を。

Denka

数字で見るデンカの水力発電

 デンカ全体の電力使用量
※2024年度 **約3割**

 発電所数
※合併会社所有含む **17カ所**

 一般家庭の消費電力換算 **約18万世帯**

 最大出力 **14万kW**

 国内製造会社発電出力 **第2位**



17カ所の水力発電所 地図 (北陸電力との合併会社含む)



4

経営計画「Mission2030」と株主還元

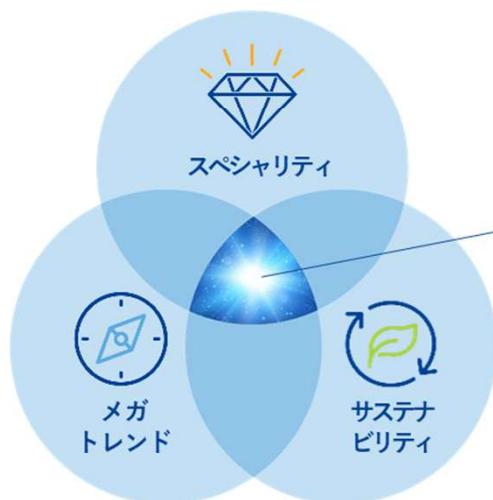
世界に誇れる、化学を。

Denka

世界経済や需要環境などの前提条件の変化を受け、計画見直し中

MISSION

2030年までに、人財・経営価値を高め
スペシャリティ・メガトレンド・サステナビリティの
3要素をそなえた事業価値創造に集中する。



経営計画「Mission2030」の見直し

2025年度中に公表予定

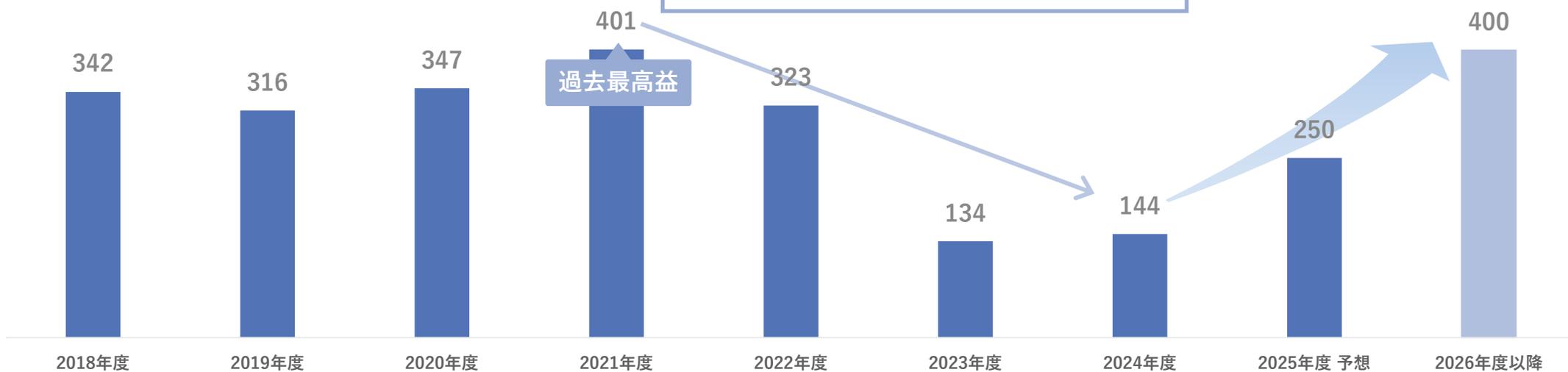
2026年度以降の計画数値、
具体的な事業戦略を策定中

認識している4つの収益課題

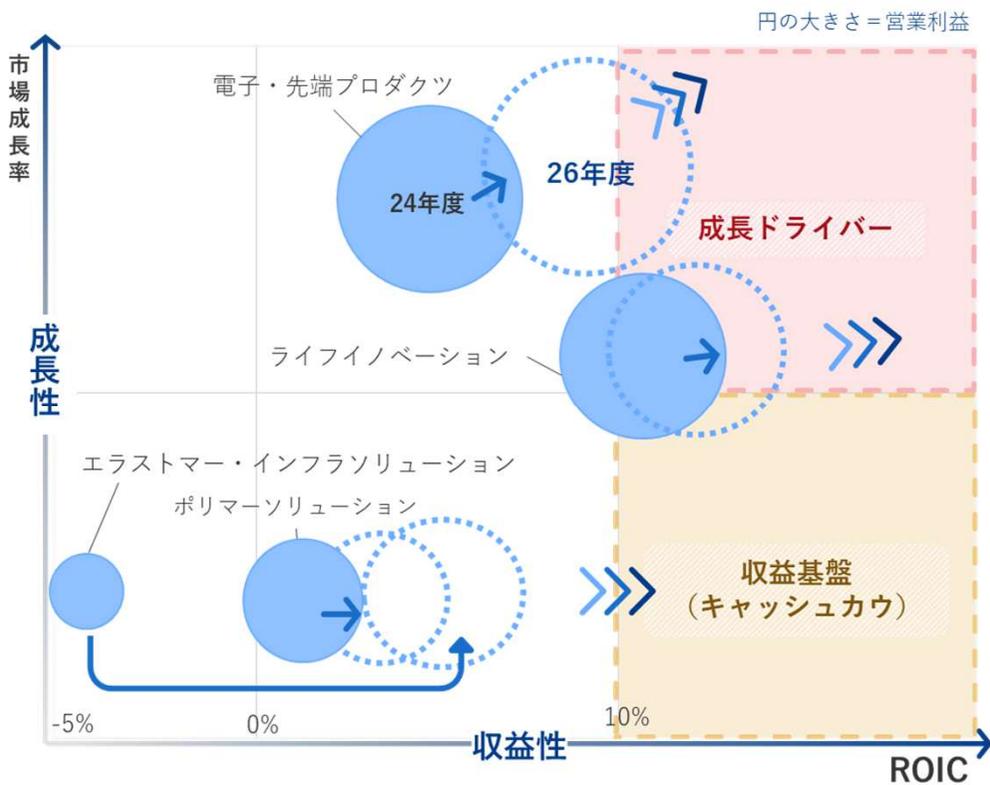
営業利益推移 (単位：億円)

- 収益課題
- ① 米国クロロプレンゴム事業の不振
 - ② 電子・先端プロダクツの先行投資の回収遅れ
 - ③ ポリマーソリューションの業績停滞
 - ④ 全社的なコスト増

業績改善に向けた各部門の方向性は次のページ



成長事業の拡大と低収益事業の収益基盤化（現金創出力の向上）



電子・先端プロダクツ

- ▶ 「成長戦略」：トップシェア維持と成長分野でのデファクト化
- ▶ 「投資の刈り取り」：各市場拡大による収益拡大

ライフイノベーション

- ▶ 「安定成長」：更なるラインナップの拡大とコスト競争力強化

エラストマー・インフラソリューション

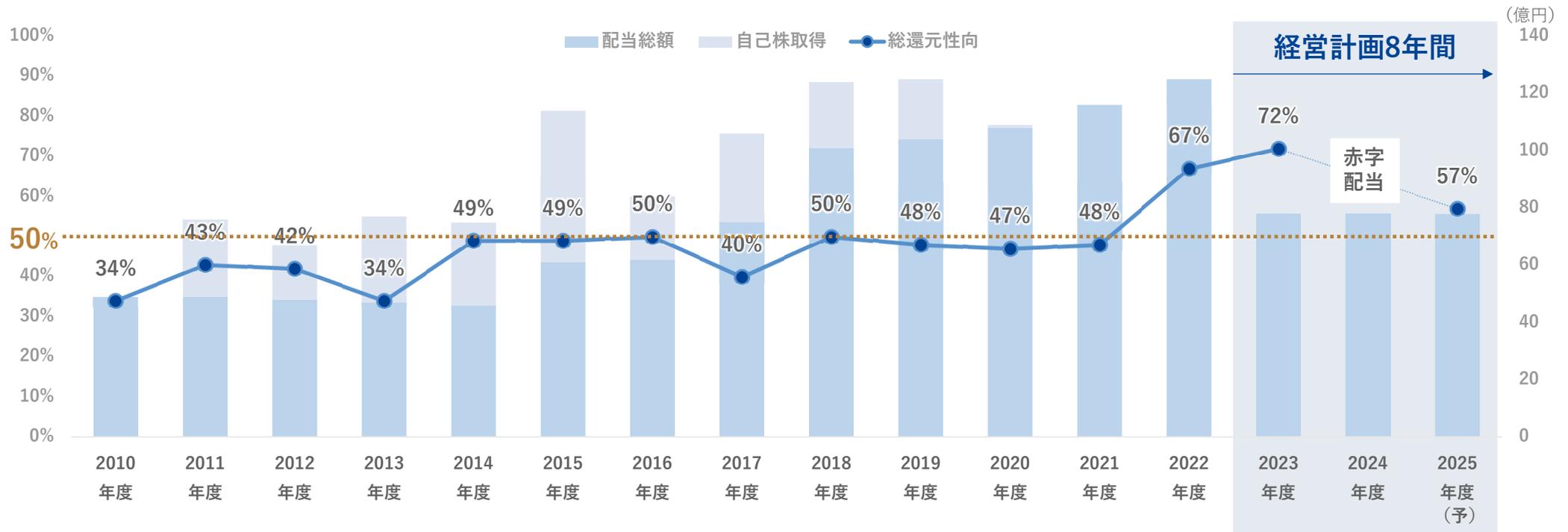
- ▶ 「収益基盤化」：クロロプレンゴム事業の抜本的対策
(24年度→26年度 営業利益+150億円)

ポリマーソリューション

- ▶ 「収益基盤化」：ダウンサイジングの検討

株主還元方針

総還元性向 50%（経営計画8年間累計：2023～2030年度）
を目安にしたうえで、1株当たり配当額の維持、増加を目指す



※配当金及び自己株取得は支出ベース

▶ https://www.denka.co.jp/ir/fact_01/

株価情報（9月末時点）

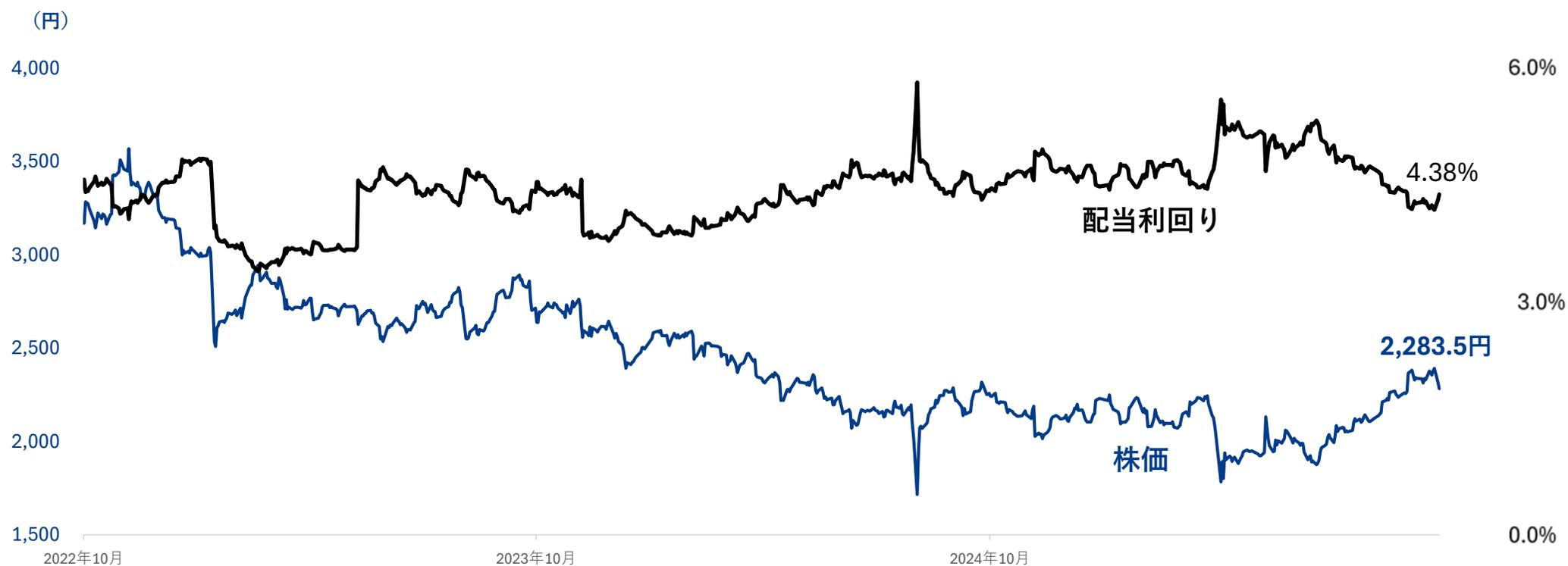
株価：2,283.5円

配当利回り：4.38%

PER：13.1倍

PBR：0.67倍

株価チャート（2022年10月3日～2025年9月30日）



デンカレポート2025 (統合報告書)

中長期的な価値創造に焦点を当て、
持続的な成長に向けた取組みを説明

▶ <https://www.denka.co.jp/ir/report/>



広報誌 "The Denka Way"

独自の技術を通じて成長を遂げる
デンカの姿を季刊でお伝え

▶ <https://www.denka.co.jp/corporate/thedenkaway/>

2025年5月30日 経営説明会資料

企業価値向上策含む経営全般に関して説明

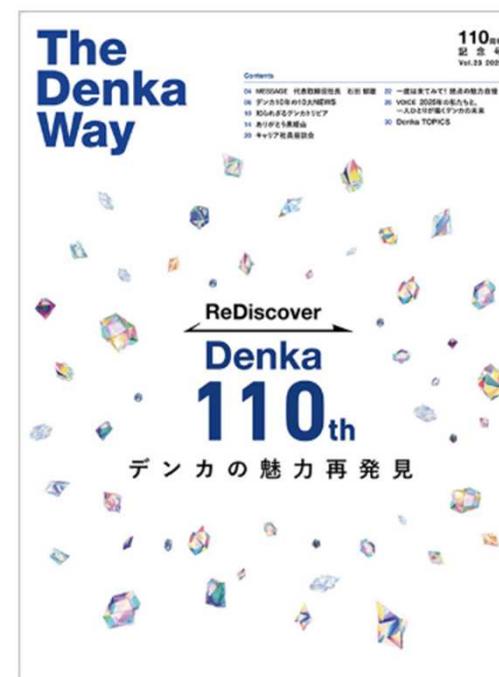
▶ <https://www.denka.co.jp/ir/presentation/>



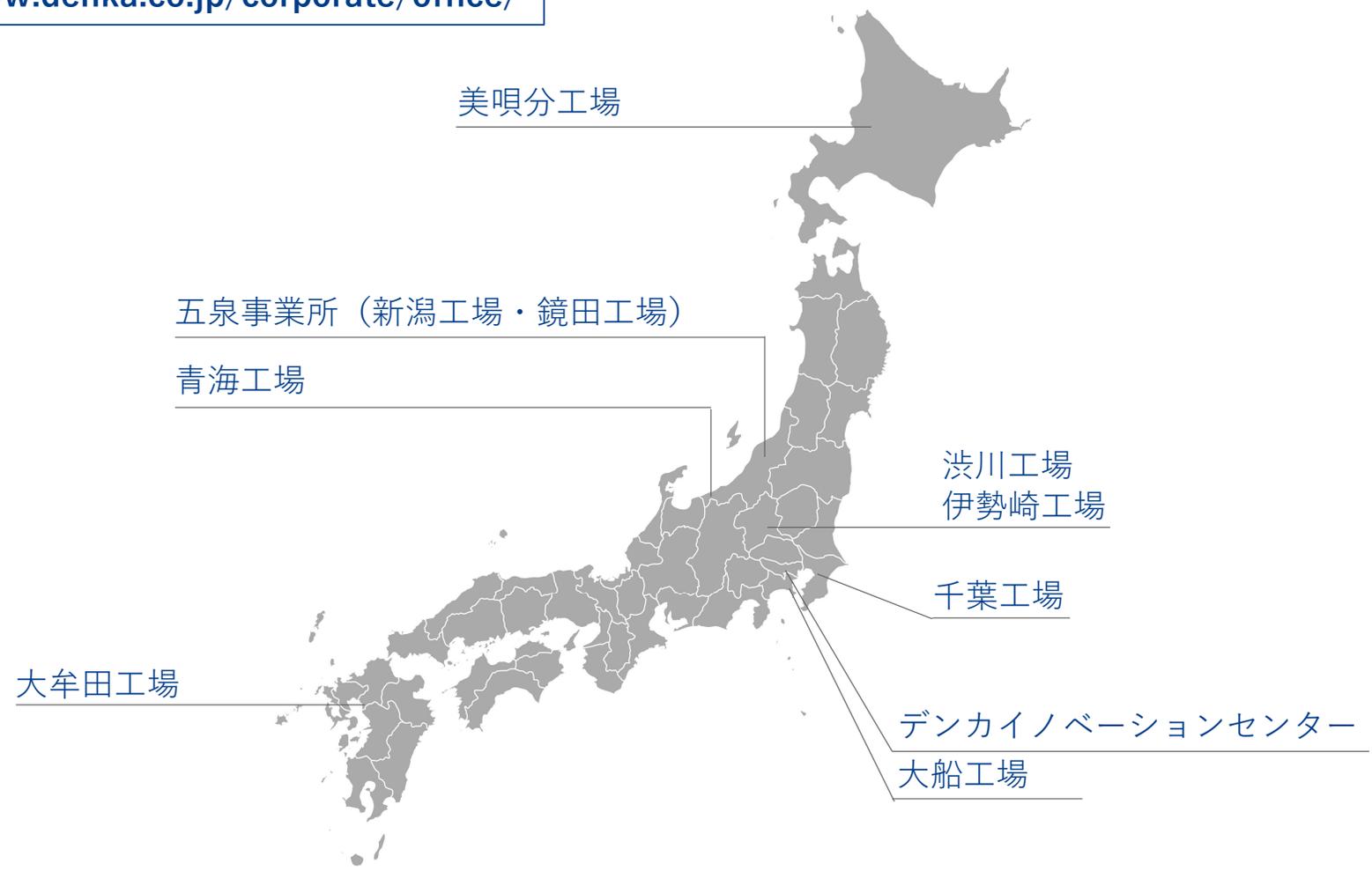
財務・業績推移

チャートジェネレーターで
財務・業績推移を確認

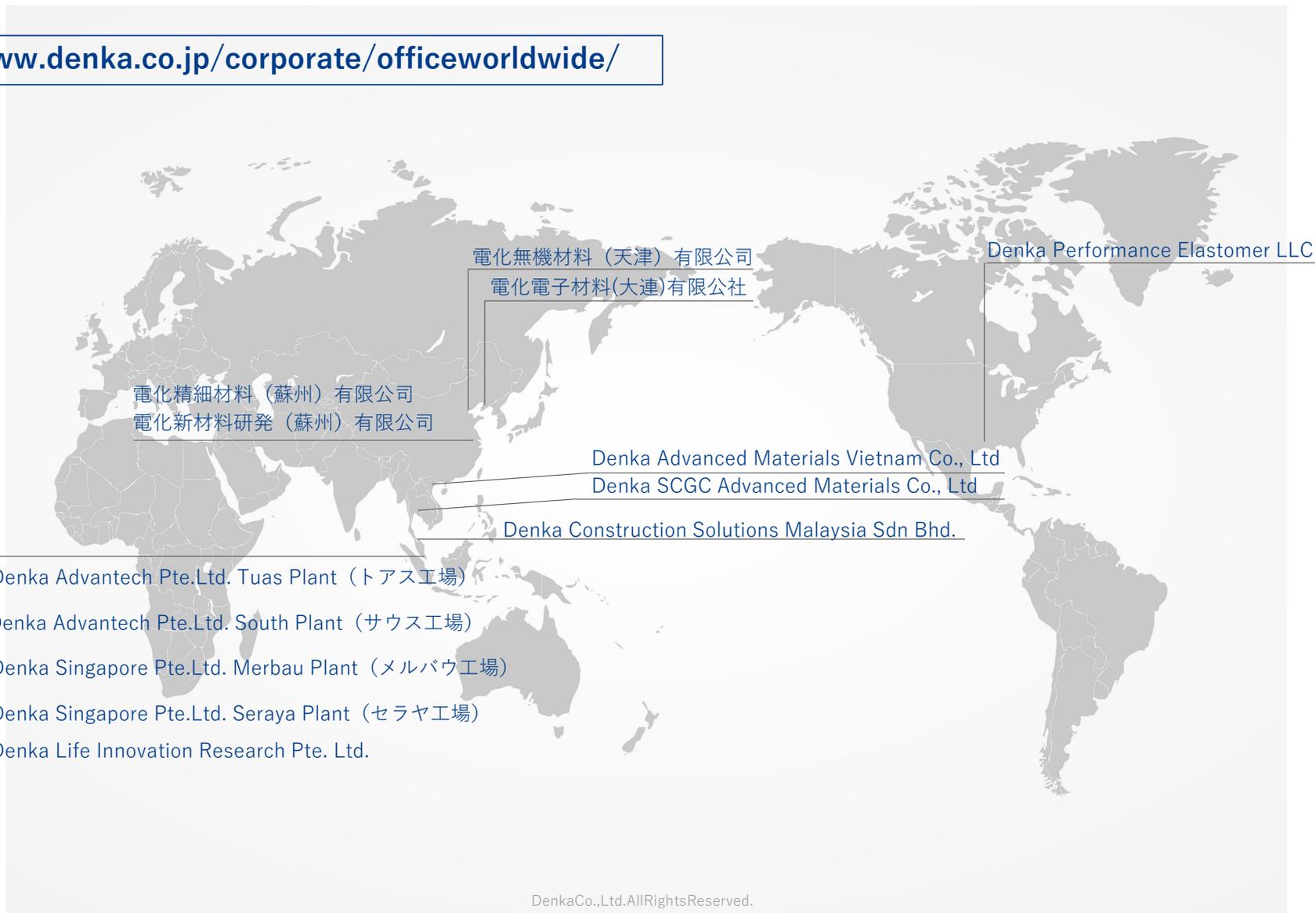
▶ <https://www.denka.co.jp/ir/finance/>



▶ <https://www.denka.co.jp/corporate/office/>



▶ <https://www.denka.co.jp/corporate/officeworldwide/>



業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

世界に誇れる、化学を。

Denka

本資料に関するお問い合わせ先

デ ン カ 株 式 会 社

コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-5290-5511

URL <https://www.denka.co.jp>